

ふじ 議会だより

Fujikawaguchiko

かわぐち



Vol. 73
2022.2

CONTENTS

- 第4回定例会 2P
- 委員会レポート 4P
- 一般質問 9P
- 常任委員会現地視察 12P
- 議案賛否・議会活動報告 13P
- 窓・議会見聞録・編集後記 14P



大嵐小学校 コキアのほうき作り

令和3年 第4回定例会

議案

Pickup!

ピックアップ!!

こんなことが決まりました



12月定例会のあらまし

12月議会定例会は、12月7日から14日までの8日間の会期で開かれました。一般質問には3人の議員が登壇し、議論が交わされました。

提出案件は、専決処分承認、組合の設立、指定管理、条例改正、補正予算、同意案件など30件で、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

専決処分の承認

●富士河口湖町一般会計補正予算（第6号）

【内容】子育て世帯臨時特別給付金事業
2億1319万円増額

組合の設立

●富士・東部広域環境事務組合の設立

【内容】ごみ処理施設の新規建設及び管理並びにこれに附帯する事務を共同処理するため設立。

関係市町村（富士吉田市・都留市・大月市・上野原市・道志村・西桂町・忍野村・山中湖村・鳴沢

条例改正

村・富士河口湖町・小菅村・丹波山村）

●富士河口湖町国民健康保険条例の一部改正

【内容】出産育児一時金等の支給額の見直し

●富士河口湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

●富士河口湖町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【内容】政令の一部改正による基準改正

●西湖いやしの里根場条例の一部改正

【内容】施設の管理運営の健全、安定化のための入館料改定

計画策定

●富士河口湖町過疎地域持続的発展計画

【内容】精進、本栖、富士ヶ嶺地区の令和3年4月1日から6年間の持続的発展計画の策定

町有施設の指定管理者の指定

名称…道の駅かつやま

指定管理者…一般社団法人勝山観光協会

指定期間…

令和4年4月1日

～令和9年3月31日

名称…小立ふれあいこども館

指定管理者…社会福祉法人富士河口湖町社会福祉協議会

指定期間…

令和4年4月1日

～令和7年3月31日

名称…河口湖ハーバル工房
指定管理者…社会福祉法人富士河口湖町社会福祉協議会
指定期間…

令和4年4月1日

～令和9年3月31日

同意案件

●富士河口湖町教育委員会教育長

渡邊 政孝

●富士河口湖町教育委員会委員

堀内 智美

●小立財産区管理委員

渡邊 一

外川 正寛

●富士河口湖町河口湖治水委員会委員

赤池 勝

渡邊 一文

梶原 晃

外川 治雄

佐藤 良一

古屋 武久

倉澤 英三

宮下 重光

粗大ごみ処理委託事業

粗大ごみ拠点回収の様子



粗大ごみの処理量が昨年度と比較して約80トン増加しているため処理委託料を増額。

新型コロナウイルスワクチン 接種事業

中央公民館接種会場



新型コロナウイルスワクチンの2回目の接種を完了してから、原則8ヶ月以上経過した住民の皆様を対象に、3回目の接種が中央公民館において実施される予定。

勝山小学校特別教室改修事業

勝山小学校特別教室



児童数の増加及び県の施策による25人学級実施に伴い、来年度に勝山小学校の一般教室が不足するため、特別教室を一般教室に改修。

町道除雪作業委託事業

除雪作業の様子



町道の除雪経費に不足が見込まれるため増額。

臨時会情報

令和3年第3回臨時会が11月22日に開かれ、富士河口湖町職員給与条例の一部改正（期末手当の減額）が審議され、賛成多数で可決されました。

その他の補正事業

- ふるさと応援寄附基金積立 1億5000万円増額
- 認定こども園及び地域型保育施設等委託料 4300万円増額
- こども医療費助成金 2000万円増額
- 観光行事補助金 1689万円減額
- 管内小学校プール修繕 1618万円増額



総務常任委員会

総務
常任委員会の
審議状況を
報告します。

富士山 火山防災について

渡辺美雄委員

国の直轄事業の富士山火山防災工事及び災害が起きた場合の対応で県、国との連携について町はどのような方針が伺う。

地域防災課長

噴火警報、降灰予報、火山活動の状況等の情報は気象庁より発表される。

地元市町村は噴火の可能性がある地域の対応を検討する。噴火警戒レベル1の平常時は観察のみ。警戒レベル2で富士山に関する解説情報が発信。その時点で吉田合同庁舎内にある県の火山防災対策室と連携を執り地元市町村で構成される火山防災対策協議会を開き、周辺市町村の担当者が集まり対応を協議することになっている。それと同時に5合目以上の入山自粛もされ、その後噴火の危険性

が増加した場合は県の防災システムで各市町村に連絡される。



剣丸尾ストックヤード

渡辺英之委員

最近、富士山周辺で頻繁に地震が発生している。富士山噴火に影響がある場合に備えて、県は現地対策本部を町の北岸に設置することを検討していると、町長の答弁があった。富士山噴火の災害が数時間以内に船津地区の南台、町庁舎に被害が及ぶ恐れがあると思うが、その状況を伺う。

町長

富士山噴火が起きた場合、3時間以内に吉田合同庁舎内の対策室に到達する可能性があり、現場で指揮を執ることができないため、県から河口湖北岸でどうかと話しがあった。県と折衝する考えである。更に北岸地区の大石出張所が土石流の危険地区に含まれているため今後、その対策も検討していく予定である。

渡辺英之委員

町が富士山噴火で危険な状況に陥った場合、役場の業務の継続として重要になるのは情報発信、住民基本台帳などのデータ管理であると思うが、その対策を伺う。

地域防災課長

役場業務の継続は業務継続計画において、各課単位で年度ごとに見直し、システム等を使い業務を進めている。更に情報発信、住民基本台帳、データ管理、また県の総合情報システムを通じてアラート、パソコンやインターネット回線があれば発信できる対策をと

っている。

渡辺英之委員

富士山噴火の際、降灰時の道路を避難路として使用される場合、トンネル内で一般車両が放置され、交通渋滞が発生し緊急車両、自衛隊車両等の移動に支障があるがその対策は。

地域防災課長

富士山噴火の際は県の要請により自衛隊の出動、北麓地域の建設業者、JAF等にお願ひし、県、町の防災計画に基づいて主要避難道路を優先させて開けることになっている。

遠距離通学への 補助金

井出正広委員

近隣の富士吉田市、都留市、西桂町の条件の違いはあるが、定期券の半分の対象に月1万円まで上限に補助金を出していると聞いている。県が平成29年度から、鉄道通学支援による人口転出抑制事業として各市町村が交付した補助金の半額を県が支給すると聞いて

いるが、今後、町の遠距離通学補助の対策を伺う。

政策企画課長

県の人口ビジョンの中で20歳から24歳までに、大学に通う子供たちの転出超過を抑制するための政策である。併せて、県が実施した富士河口湖高校進学予定者のアンケート調査結果は鉄道通学利用者が少数であったため、町は県の3年間の検証結果を見て判断することとした。

井出正広委員

富士吉田市は7人位が対象者と聞いているが、町は人口転出抑制事業として考えられるか伺う。

政策企画課長

県の3年間の検証結果によると効果の見極めが困難で、その後2年間延長して令和3年度で終了すると聞いている。今後、県は令和4年度に向けて特急券の補助を上乗せすることを考えているようである。町は転出人口の抑制に繋がる有効な政策であれば検討する考えである。

ふるさと応援寄附金

渡辺美雄委員

ふるさと応援寄附金に関する件だが、昨年の1・5倍の金額で3億円ほど増額と聞き及んでいるが政策企画課として更に増額できる可能性を伺う。

政策企画課長

昨年は6億円を上回ったが、その内4億円は12月中のふるさと応援寄附金である。返礼品の内訳は、宿泊クーポン、更に数多くの返礼品等。今後、寄附金の増額はコロナ禍の社会情勢、経済状況の中での見極めは難しいが10億円の目標に向かって努力していく。

町で初めての CINEMA・リノケン

渡辺武則委員

専門職員が3名携わって、ふるさと納税推進室がスタートした。目標額の10億円を目指し、その一環として今回初めてクラウドファンディングを計画されたが、その概要を伺う。

政策企画課長

精進地区にジビエ食肉加工施設があり、数年来、鹿の農林被害が多く管理捕獲している。富士山において鹿は害獣と呼ばれているが何とかして利用の方法を検討した結果、鹿の破棄から食肉として利用を進めるためにも、寄附をお願いし、猟師の確保や育成、鹿の運搬車両の購入などを予定している。今後もクラウドファンディングを検討していく。



ジビエ食肉加工施設

委員会 レポート

産経土木常任委員会

産経土木常任委員会の審議状況を報告します。

小規模事業者 継続支援金は

佐藤安子委員

町が行っている小規模事業者継続支援金の申請状況は。

観光課長

12月9日現在で、190件強の申請があった。金額は、補正予算4500万円のうち約1800万円である。申請期間は2月28日までであり、再度、広報やホームページなどでお知らせしていく。

佐藤安子委員

自分は該当していないと思っている事業者もいるので、周知の徹底を。

山下利夫委員

どのような事業者が申請されているか。

観光課長

詳細な統計はまだとっていないが、現在のところ、民宿やペンションなど宿泊業、小売業、サービス業、

建設業が多い。その他、インストラクター、自然体験のガイド、マツサージ師などフリーランスからも申請があがっている。

河口湖簡易水道 特別会計

山下利夫委員

河口地区に建設中の小島配水池の配置変更のため、2580万円増額の補正予算が計上されているが、その理由は何か。

水道課長

当初、工事費をできるだけ安価にするために、法面を避けて配置していた。しかし、建設予定地は、イベント用の駐車場として使用するために、県より払い下げた町有地であり、1台でも多く駐車スペースを確保するために、配置変更したい。

通学路の 安全の確保を

山下利夫委員

富士豊茂小学校の前の道路は車の通行が多く、子どもたちが通行する際に危ない。安全対策を。

都市整備課長

先日、学校の先生と現地確認した。注意看板を3か所設置し、学校入り口の側溝のふたを設置して歩道を確保し、車道と歩道の間にポールを設置し、安全を確保する。



富士豊茂小学校通学路

観光イベントの

感染対策は

渡辺美雄委員

最近では、コロナの影響で、中止や縮小になつている観光イベントが多いが、今後の予定は。

観光課長

1・2月には、冬花火と富士山の日花火大会、西湖樹氷まつり（縮小して開催予定）に向けて、準備をすすめている。

渡辺美雄委員

イベントにおけるコロナ

対策は。



冬花火

観光課長

国や県が示す対策内容で対応している。

佐藤安子委員

紅葉まつりにおいて、飲食ブースでは、消毒や検温の徹底がされていたが、道路沿いの一部の飲食ブースでは、徹底されていなかった。

観光課長

一回り会場を周知させていただいたが、確かに、感染対策の看板も出ておらず、検温や消毒もされていないブースがあった。今後は、周辺の部分にも文書での依頼などをしていく。

降灰による

水道や下水道への

影響は

渡辺英之委員

富士山噴火が発生した場合、降灰による水道への影響は。

水道課長

深井戸湧水を利用している地区は、降灰による影響はないと考える。しかし、停電が発生した場合は、地下水を汲み上げるための取水ポンプが停止し、断水になる。主な水源には自家発電装置を設置しているの

で、取水が可能になる地域もある。

湧水と伏流水を利用して

いる地区（河口、大石、根

場・本沢地区）は、風向き

にもよるが、降灰による影

響が出る可能性がある。

渡辺英之委員

降灰による下水道への影

響は。

水道課長

下水道は、地下に埋設し、自然流下で流している

ので、影響はないと考え

る。しかし、西湖周辺、河

口、大石地区に13か所設置

されているマンホールポン

プは、停電時には止まる。

下水道には自家発電装置は

設置していないため、緊急

時はバキューム車で汲み上

げることになる。

ジビエの活用促進を

渡辺英之委員

ジビエ食肉加工施設の出

荷状況は。

農林課長

販売数は年々増加している（令和2年度は1409キロ）。注文に対して遅延なく出荷できているので、施設での加工頭数も良好である（令和2年度は141頭処理）。

渡辺英之委員

解体処理の鹿肉の衛生及び品質加工ガイドラインは、厳しく管理されていると思うが、血抜き処理の技術は、人によって違う。

後継者育成は。

農林課長

捕獲後、血抜き処理できないと製品にならないが、その方法は大変である。ま

ずは技術向上のために、来年度、処理方法を紹介するDVDを作成予定。

渡辺英之委員

鹿の毛皮の処理や活用は。また、採算はとれているのか。

農林課長

昨年度から、甲州印伝の材料とするために、処理施設で塩漬けにした鹿皮を兵庫県のなめし業者に卸している。購入するものが塩だけなので、採算はとれている。



ジビエ食肉加工製品

図書館の現況と今後

外川満委員

コロナウイルス感染防止のため、多々制約があった町立図書館だが、現況は。

生涯学習課長

最近については、8、9月の貸出し数は約1か月間の閉館措置の影響で、一昨年の3分の1まで落ち込んだが、10、11月の貸出し数は一昨年の9割ほどまでに推移してきている。

外川満委員

今後の運営は。

生涯学習課長

昨年より富士河口湖町図書館協議会にて諮問されていた「新型コロナウイルス等感染症を踏まえた今後の生涯学習館（町立図書館）の在り方と運営について」の答申が出された。今後はこの内容から学び、コロナ感染防止と利用者サービス拡充のバランスを保ちながら運営していく。

青木ヶ原の自殺対策

山下利夫委員

青木ヶ原で行われている「ふれあい声かけ事業」の目的は。

福祉推進課長

地域における自殺対策の強化を図ることが目的となっている。青木ヶ原樹海周辺で監視員が365日巡回し、声かけを行い、そこで自殺企図者と判明した場合は保護し、警察に引き渡している。

山下利夫委員

この半年の声かけした人数と保護した人数は。

福祉推進課長

4月から10月まで月平均は6・4人で、このうち保護したのは男性4名、女性3名の7名である。

山下利夫委員

鳴沢村では声かけの平均が18人ぐらいで、保護した人数は当町の倍以上であったとのこと。この事業の効

果を上げていくためには鳴沢村との連携をもっと強化していくことが必要だと思ふが。

福祉推進課長

町の声かけマニュアルの中で鳴沢村とは緊急・必要な場合には連携して対応することになっている。

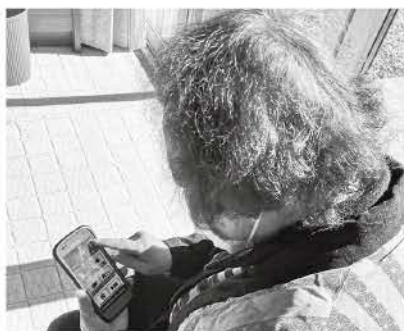
高齢者スマホ教室

佐藤安子委員

高齢者のスマホ教室開催はどうなっているのか。

生涯学習課長

今年度社会教育事業の一環として開催することを計画していたが、コロナ感染状況の悪化により見合わせていた。来年度は再度仕切り直しをして、開催に向けて取り組んでいく。



スマホを扱う高齢者

子宮頸がん予防のためのHPVワクチン

佐藤安子委員

厚労省は4月からHPVワクチンを積極勧奨に切り替えるとのことだが、町の方針は。

健康増進課長

来年度予算に対象者分のワクチン接種の予算を計上させていただく。

佐藤安子委員

ワクチンの健康被害等の情報を町はどのように捉えて、どう対応を検討しているのか。

健康増進課長

接種前においては、副反応を十分ご理解いただくよう周知する。そして仮に健康被害等が発生した場合、医療機関のほうから速やかに報告いただき、接種した方への対応も速やかに取れるように体制を整えた。

3歳児健診における弱視検査

佐藤安子委員

3歳児健診における弱視の早期発見について、厚労省からの検査機器購入の補助金が出るそうだが、導入を検討すべきではないか。

子育て支援課長

県の動きや、地域の眼科医との意見交換を踏まえて、整備を考えていきたい。



3歳児健診の様子

「コロナ禍」の副反応

山下利夫委員

コロナワクチンの副反応で重症化した場合の「健康被害救済制度」への対応は。

健康増進課長

国の予防接種法に基づいての救済制度である。現在、接種会場で待機時間に救済制度の案内をしている。また、重症の副反応等の方や症状が発生した場合は、医療機関から制度の内容と町への問い合わせを案内してもらうよう体制を整えている。

山下利夫委員

実際、副反応が出た方から制度の利用の仕方が分かりにくいとの声があった。もっと周知を徹底する必要があると思うが。

健康増進課長

確かに申請をするには非常に複雑な書類が必要である。健康増進課の窓口でも周知を更に徹底していく。

民泊など小規模宿泊施設のごみなどの問題

三浦康夫委員

昨今、大型トレーラーつきの宿泊施設や別荘を宿泊施設にしたものが目立っているが、今後多種多様の宿泊施設に対して、生ごみの取扱い、その他のごみに対してどういう方針でいくのか。

環境課長

今指摘された、いわゆる民泊などの小規模のものや既存建物を利用したものについては事前に協定書を交わすのが難しい。周辺の方からの相談等で把握をした場合は、運営者に速やかに連絡をし、事業系のごみの徹底及びごみの減量化の協力を求めている。

三浦康夫委員

税の問題や騒音の問題もある。今後、しっかりとした基準作りが必要ではないか。

町長

トレーラーハウスは浮遊物ということで建物として

の課税はできない。これは全国の市長会、町村会で今の総務省の課税局に課税対象を直せと強く申し込んである。騒音の問題は、持続的にある程度の騒音でないと規制などの対象になってこない。ごみは設置者に責任を持たせるといのが一番の解決策。ただ、町の条例だと開発行為は千平米以上。それを下回った場合にはそういった規制に当てはまってこない。よって、所有者へ行政指導をしていく。

増え続ける国保会計

倉沢鶴義委員

年々増え続けている国保の特別会計だが、慎重に議論する時期が来ていると思う。町長の所見は。

町長

今回の補正後、とうとう30億円を超える。これから先も上昇すると思う。今後の国保税をどうするかということは、国で議論すべきことであり、国が面倒を見るべきと考えている。

老朽化が著しい学校の遊具

三浦康夫委員

学校の遊具の点検は行っているのか。

学校教育課長

町内の学校にある遊具は、かなりの割合で老朽化が進んでいる。そのため毎年業者委託して実施している。

三浦康夫委員

壊れたものは修繕するのに入れ替えるのか。

学校教育課長

町内の学校にある遊具の中で緊急の修繕・破棄・更新が必要となる遊具は7基あり、そのうち3基を使用禁止としている。そのうち年1基ないし2基ぐらいの修繕を毎年行っている。



使用禁止の学校遊具

子育て世帯への臨時特別給付金

山下利夫委員

本日の新聞朝刊に大きく掲載されていたが、子どもへの5万円のクーポンについて、この支給を市町村の判断で現金給付でもできるとしているが、町ではどのように対応するのか。

町長

一番の根本は、コロナ禍で参っている国民のために一日も早くその支援策を打つこと。今、国会で議論されている動向をよくよく考えて、結論づけていく。



一般質問

一般質問者 小佐野 快

新型コロナウイルス感染症対策について

Q 当町でのワクチンの接種状況と副反応の状況は。さらに、3回目ワクチン接種の対応、特に交差接種への対応はどのように行うのか。

A 健康増進課長

町では、富士吉田医師会、山梨赤十字病院、富士吉田市立病院等の医療機関のご協力を頂き、町中央公民館を接種会場として、5月より高齢者の皆様から接種を開始した。その後順次年齢順に接種を進め10月末には接種を希望する方の2回の接種をほぼ終了している。

また、町での集団接種と合わせて富士河口湖町観光連盟・健康科学大学等による職域接種も実施された。接種対象者となる満12歳以上の町民接種率は88・5%である。ワクチン接種に伴う副反応については、接種後体調が不良となられた方はいたが入院等が必要となる重症な症状の方の報告は受けていない。追加接種3回目のワクチン接種は、メッセンジャーRNAワクチン、ファイザー社ワクチン・武田／モデルナ社ワクチンの2種類のワクチンを用いて医療従事者接種後、

2月より高齢者から一般の方の接種を開始する予定である。また2種類のワクチンの取扱い、交差接種については医師会並びに関係医療機関と協議を進め実施する事となる。

富士山火山防災対策は

Q 令和3年3月に富士山ハザードマップが改訂されたことを受け、避難計画がどのように変更になったのか。

A 富士山噴火は、溶岩流や噴石、特に火山灰は広範囲に影響を及ぼすことが心配される。走行訓練や避難訓練が実施されているが状況を伺う。

A 地域防災課長

改訂された富士山ハザードマップは、噴火口の再検討により富士北麓地区への影響が大きくなったこと、溶岩流の流れをより詳細にしたことで地形や大型構造物の影響を反映したことが挙げられる。これにより被害想定区域

が、2県17市町村から3県27市町村に拡大、また、溶岩流が3時間以内に到達するエリアが、精進、本栖、富士ヶ嶺地区に加え、船津地区の総合公園付近や小立地区のくぬぎ平スポーツ公園付近にも拡大し、私たちの生活圏にも影響する想定となった。

富士山火山防災対策協議会では、広域避難計画検討委員会が進められており、「広域避難計画」という名称が、誤解を招くという観点から「避難基本計画」とすることが決まっており、予兆があった場合の「噴火前の警戒避難」と噴火が起きた後の「噴火後の災害からの避難」に分けて検討されている。

「噴火前の警戒避難」は、警戒すべき場所からあらかじめ離れておくための避難となり、当町に置き換えると、「北へ逃げる」となる。「噴火後の災害からの避難」は、噴火の状況により異なるが、溶岩流や噴石などの被害がない場所への避難となるので、「東西へ逃

げる」となる。火山灰の走行実験に対しては、町では合計9台の車両で参加した。4輪駆動の有効性が証明され、後輪駆動では火山灰の積もり方によっては走行不能になることが検証できた。

避難訓練は、富士吉田の雁の穴付近で噴火が起きたことを想定し、図上訓練と実動訓練が行われ、各市町村内での避難や近隣市町村への避難を中心に実施した。

今後も具体的な噴火想定に沿った訓練に取り組んでいくべきと考えている。



火山灰走行訓練の様子

A 町長 観光地とすれば一刻も早くGOTOトラベルの再開を願う。これによって観光業が盛り上がり困難の状況を見ながら継続した政

Q 令和4年度もまだまだコロナの影響が影を落とし、ウィズコロナ、アフターコロナの予算編成になると思うので、町政運営は大変厳しいのではないかと感じている。観光・防災・福祉・教育の4本柱を基本とした町長の2期目の公約をどう推し進めるのか、町長の基本姿勢と方針について伺う。

令和4年度の予算について



みんなのギモン? 一般質問

一般質問者 佐藤 安子

策を打ってまいりたい。富士山の噴火については、溶岩流が短時間のうちに住宅地まで流れ込んでくる。このときの現地対策本部を県はどこへ設けるのか。この現地対策本部を町の北岸に誘致をしたい。行政の最終目的は町民一人一人の福祉の向上。福祉関係については国からコロナ禍の具体策が出てきており、これらを踏まえた中で実行したい。教育は百年の計であり町の将来を担う子供たちに投資をするということ。現在、8兆円と言われて

A 子育て支援課長 母子保健法の改正を受け、平成29年4月には行政組織改編により、母子保健事業と子育て支援事業を併せて取り組めるよう子育て支援課を設置し、また令和3年3月には子育て世代包括支援センターを立ち上げ、妊娠・出産期から子育て

Q 町内に4人の助産師が開業している。病院と違う役割で妊産婦を支える地域の助産室として、地域の助産師に町が提供する固定スペースを助産室として提供すること。そして、母子手帳発行のときに助産室利用補助券を渡し、産前から気軽に助産師と関係を築くことで、気軽に相談でき、産後のうつの予防にもつながる。子育て世代に寄り添った政策の具体化を検討していただきたい。執行部の見解を伺う。

誰もが安心して産み育てられる町に

いる市町村に対する臨時交付金が、我が町にどのような配分額で来るか、これを

期待し行政の基本であるこの4本柱を守り、継続をし、新年度予算を組みたい。



期にわたり、母子やその家族の切れ目ない支援に取り組み、ワンストップ拠点として総合的な相談支援の提供を行っている。町としては、医師や助産師の専門職を迅速に雇用することは難しいので、まずは研究課題としたい。子育て支援事業、相談事業を分かりやすく周知できる新しいパンフレットを作成する。また、町に開業する助産師が資格で行う支援内容をまとめた印刷物を渡し、母子手帳交付時に情報提供をしてきたが、これらを含め、包括支援センターの相談事業とともに、さらに周知していきたい。

A 農林課長 この政策の達成度を測るための指標が、農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者だが、2016年度の現状値37人から2022年度の将来目標値40人に増やすことを目標にしている。進捗状況は、認定農業者数は現在40名いる。また、予定では、令和4年度には2人増える見込み。農家の高齢化も進んでおり、新規就農者を増やすため、地域おこし協力隊の募集もしている。

Q 我が町の農業政策は、第2次総合計画は、2022年度が前期基本計画の達成年度となっているが、農業の取組については、目指す姿として、担い手の育成や経営基盤の強化を図るとともに、観光と連携した販売力や競争力の向上を目指すとなっている。我が町の農業政策の進捗状況を伺う。

我が町の農業政策について

福祉灯油の実施を

Q 「国民年金1か月4万円の収入でやりくりするのは大変」など、収入が少くない方の生活は大変な状況であるが、この冬、ガソリンや灯油の価格が高騰し、さらに生活を圧迫している。経済産業省の石油製品価格調査によると、11月15日の灯油配達価格は18,207.0円にもなり、1年前と比べて500円以上も値上がりしている。全国では、福祉灯油制度(灯油代補助)を実施している自治体が増えており、富士河口湖町でも平成20年2月に実施した。今冬も実施を。

A 福祉推進課長
国が決定した国家備蓄石油の一部放出などの急激な価格上昇に対する緩和措置による小売価格の動向を注視し、検討する。

Q 国の措置は効果が限定的だと言われる。その効果を見守っている間に合わない。国は、特別交付税措置を講じるとしており、いまず福祉灯油の実施を。

A 町長
町では、リーマンショックのときに灯油代補助を実施したが、対象は、高齢者のみ世帯などごく一部だった。また、国の措置により、灯油価格がどのくらい下がるか、まだわかっていない。

また、国は、厳しい状況が続いている。国保税の軽減が求められている。特に重い負担となっているのが、1人当たり31,200円かかる均等割である。特に、子どもが増えれば金額が増えていくことになる。子育て支援に逆行する。令和4年4月より、国が子どもの均等割の減額を表明しているが、未就学児のみ半額にするもの。北海道の大雪地区広域連合では、すでに18歳まで均等割を半額にしているなど、全国では、国の措置に上乗せして実施している自治体も多い。町としても独自のの上乗せを。

子どもの国保税均等割の軽減を

いない。また国は、生活困窮者への10万円の給付金などの支援策を打ち出しているが、まだ具体例を示している。

Q 消費税増税、コロナによる影響など、町内経済は厳しい状況が続いている。国保税の軽減が求められている。特に重い負担となっているのが、1人当たり31,200円かかる均等割である。特に、子どもが増えれば金額が増えていくことになる。子育て支援に逆行する。令和4年4月より、国が子どもの均等割の減額を表明しているが、未就学児のみ半額にするもの。北海道の大雪地区広域連合では、すでに18歳まで均等割を半額にしているなど、全国では、国の措置に上乗せして実施している自治体も多い。町としても独自のの上乗せを。

いない。国会での論戦の結果、どのような制度設計が示されるかを待ち、考えていく。

プラスチックごみ減量の周知強化を

Q プラスチックごみが適正に処理されず、海や川、湖に流れ込むと、海洋生物などの生態系に深刻なダメージを与え、魚介類を通じて人間が体に取り込み健康被害をもたらす可能性がある。リサイクルがすすめられているが、その多くが焼却時に排出された熱エネルギーを活用した発電(サーマルリサイクル)であり、CO₂を増やし、気候危機対策に逆行する。加工して衣服などの原材料にするマテリアルリサイクルも広がっているが、洗濯に

より、下水を通じて海などに流される可能性もある。プラスチックごみは、減量(リデュース)を解決方法の根本に据えることが必要。まずは、事業者、町民のみならず、皆さんの周知強化を。

A 環境課長
町では、平成12年度より各地区にリサイクルセンターなどを整備し、ペットボトルなどの分別、減量、リサイクルに取り組んできた。近年、プラスチックごみの環境への影響の大きさが注目されるなかで、プラスチックごみゼロに向けて、町民への周知をすすめて、3R運動の推進をよびかけ、分別回収などもすすめてきたが、十分とは言えない状況を踏まえ、さらなる周知に注力していく。

プラスチックごみは、減量(リデュース)を解決方法の根本に据えることが必要。まずは、事業者、町民のみならず、皆さんの周知強化を。



各家庭に配布されているポスター

みんなのギモン?

一般質問

一般質問者 山下 利夫



常任委員会現地視察



総務常任委員会

令和3年11月11日視察

剣丸尾火山防災

ストックヤード



剣丸尾ストックヤード

国土交通省が山梨県側に最初に整備した剣丸尾火山防災ストックヤードを視察し、富士山火山噴火に対する富士砂防事務所との取り組みについて、担当者より説明を受けました。今後、噴火に伴う土砂災害に対して、住民等の被害をできる限り軽減（減災）することを目的としたソフト・ハード対策が望まれます。

Mt.富士

トライアスロンin

富士河口湖メイン会場

来年の9月に予定されているトライアスロン大会のメイン会場となる八木崎公園において、政策企画課担当者より大会の概要及びコース案について説明を受けました。

トライアスロン大会を通じて、町民の健康増進と地域の観光振興、活性化に寄与し、周辺地域の環境保全への意識が高まっていくことが期待されます。



八木崎公園

文教社会常任委員会

令和3年11月16日視察

船津小学校外構工事



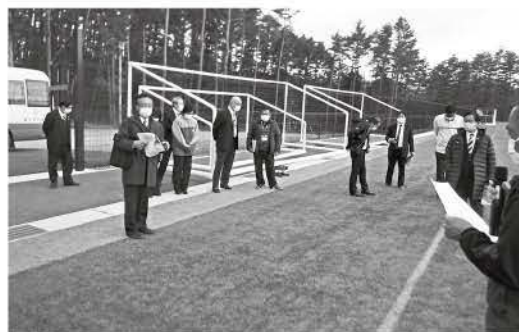
船津小学校

今年度施工された渡り廊下工事、外構工事及びグラウンド整備工事の内容について学校教育課の担当者から説明を受けました。

くぬぎ平

スポーツ公園運動場

スポーツの振興とスポーツ合宿などを盛り返し、より豊かな経済発展のための重要資産としてリニューアル化をされたスポーツ公園及び現在の運営状況について生涯学習課の担当者から説明を受けました。



くぬぎ平スポーツ公園

産経土木常任委員会

令和3年12月1日視察

小島配水池建設事業

近年河口地区内の大規模施設建設による使用量の増加に対する対策事業。

深井戸を掘削し取水量を増量させ、配水池及び付属施設等の工事を行ったうえで、給水の安定供給を図る予定であるとの説明を受けました。

令和4年5月末完成予定。



小島配水池

新善郷塚水源整備事業

船津地区の県道富士河口湖・富士線以南を給水区域とする善郷塚配水池の配水量増加による対策事業。

日量1800立方の取水が可能となり、給水の安定供給を図る予定であるとの説明を受けました。

令和4年3月末完成予定。



新善郷塚水源

公開します 議員の賛否

審議した議案とその結果

○令和3年 第3回臨時会

○令和3年 第4回定例会

会期：12/7（火）～12/14（火）8日間

〔本会議〕議案審議 (11/22)

〔本会議〕議案審議 (12/7、12/14)

一般質問 (12/8)

〔常任委員会〕 (12/9、12/10)



上程議案・概要・結果	結果	中村拓郎	古屋実	古屋幹吉	渡辺英之	井出正広	外川満	渡辺武則	渡辺美雄	中野貴民	山下利夫	佐藤安子	小佐野快	梶原義美	堀内昭登	三浦康夫	倉沢鶴義
全賛：全員賛成で可決・認定・採択 賛多：賛成多数で可決・認定・採択																	
条例の一部改正																	
富士河口湖町職員給与条例の一部改正	賛多	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○
											討		討				

* 議長は賛否同数の場合のみ、議長採決として賛否表明します。

専決処分	結果
一般会計（第6号） 2億 1319 万円増額 P2	全賛
指定管理者の指定	
富士河口湖町町有施設の指定管理者の指定について（道の駅かつやま） P2	全賛
富士河口湖町町有施設の指定管理者の指定について（富士河口湖町小立ふれあいこども館） P2	全賛
富士河口湖町町有施設の指定管理者の指定について（河口湖ハーバル工房） P2	全賛
組合の設立	
富士・東部広域環境事務組合の設立について P2	全賛
条例の一部改正	
富士河口湖町国民健康保険条例の一部改正 P2	全賛
富士河口湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 P2	全賛
富士河口湖町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 P2	全賛
西湖いやしの里根場条例の一部改正 P2	全賛
計画策定	
富士河口湖町過疎地域持続的発展計画について P2	全賛

令和3年度富士河口湖町補正予算

船津財産区特別会計（第1号）	予算組替	全賛
小立財産区特別会計（第3号）	予算組替	全賛
大石財産区特別会計（第1号）	予算組替	全賛
河口財産区特別会計（第2号）	予算組替	全賛
勝山財産区特別会計（第2号）	予算組替	全賛
長浜財産区特別会計（第1号）	20 万円減額	全賛
西湖財産区特別会計（第1号）	70 万円減額	全賛
国民健康保険特別会計（第1号）	3 億 267 万円増額	全賛
後期高齢者医療特別会計（第2号）	24 万円増額	全賛
介護保険特別会計（第3号）	1 億 9849 万円増額	全賛
河口湖簡易水道事業特別会計（第1号）	3080 万円増額	全賛
足和田簡易水道事業特別会計（第1号）	406 万円増額	全賛
上九一色簡易水道事業特別会計（第1号）	予算組替	全賛
下水道事業特別会計（第1号）	3145 万円増額	全賛
温泉事業特別会計（第2号）	予算組替	全賛
一般会計（第7号） P2-3	9 億 9248 万円増額	全賛
同意案件		
教育委員会教育長任命同意		全賛
教育委員会委員任命同意		全賛
小立財産区管理委員選任同意		全賛
河口湖治水委員会委員選任同意		全賛

12月の議会の動き （一部掲載）

12月 7日～14日 第4回定例会

22日 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会
河口湖南中学校組合議会

お詫びと訂正

□議会だより72号表紙の写真説明につきまして「鈴木啓吾さん」とあるのは「鈴木啓悟さん」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。



第53回

山日YBS農業賞受賞にあたり



山梨県家畜改良協会会長

江野澤 伸一



この度は、栄えある山日YBS農業賞の表彰を受け、身に余る光栄と感謝の気持ちでいっぱいです。日頃よりお世話頂いている関係機関の皆様、周囲の方々に心より感謝申し上げます。

私の暮らす富士ヶ嶺は、戦後国が食糧増産のため推奨した、緊急開拓事業による開拓地です。私の祖父が富士ヶ嶺の台地に初めて鉄道を打ち下ろしてから今年で75年になります。私はおじいさんから数えまして開拓三世になります。隣に息子夫婦が住んでおり、三年前に孫が生まれましたので開拓五世が富士ヶ嶺の地で生活していることになりました。そんな先祖が開拓した富士ヶ嶺の地ではゼロからのスタートに近い形で酪農に携わり43年になります。

日々の仕事を妻と共に精一杯、一歩一歩地道に取り組んできたという想いだけで、私共には表彰に値するような功績は思いつかないというのが今の正直な気持ちです。

私の酪農の基盤は、機械でも施設でもなく牛

であり、どうすれば牛が健康で快適に過ごせるのかを常に考え、会話のできない牛たちからのサインを見逃さないよう愛情を注ぎ管理してきました。こうした私と妻のやってきたことが、結果的に山梨県でも推奨しているアニマルウェルフェアとして評価され、今回の受賞につながっているところでもあります。

現在酪農は、度重なる飼料価格の値上げ、高齢化や後継者不足による戸数の減少等など、様々な影響を受け、大きく変革を求められる時期を迎えています。世界的な潮流であるSDGsやアニマルウェルフェアの考えも引き続き飼養管理の中に取り入れ、活かし、この農業賞に恥じぬ優良な経営に結び付けていきたいと思っております。

であり、どうすれば牛が健康で快適に過ごせるのかを常に考え、会話のできない牛たちからのサインを見逃さないよう愛情を注ぎ管理してきました。こうした私と妻のやってきたことが、結果的に山梨県でも推奨しているアニマルウェルフェアとして評価され、今回の受賞につながっているところでもあります。

現在酪農は、度重なる飼料価格の値上げ、高齢化や後継者不足による戸数の減少等など、様々な影響を受け、大きく変革を求められる時期を迎えています。世界的な潮流であるSDGsやアニマルウェルフェアの考えも引き続き飼養管理の中に取り入れ、活かし、この農業賞に恥じぬ優良な経営に結び付けていきたいと思っております。



であり、どうすれば牛が健康で快適に過ごせるのかを常に考え、会話のできない牛たちからのサインを見逃さないよう愛情を注ぎ管理してきました。こうした私と妻のやってきたことが、結果的に山梨県でも推奨しているアニマルウェルフェアとして評価され、今回の受賞につながっているところでもあります。

現在酪農は、度重なる飼料価格の値上げ、高齢化や後継者不足による戸数の減少等など、様々な影響を受け、大きく変革を求められる時期を迎えています。世界的な潮流であるSDGsやアニマルウェルフェアの考えも引き続き飼養管理の中に取り入れ、活かし、この農業賞に恥じぬ優良な経営に結び付けていきたいと思っております。

普段はテレビでもあまり見ることのない町議会だが、今回傍聴する機会があり、同僚とともに議事堂に向かった。我々の今後に関して特に注目すべき議案が出されていることを聞いたので、しっかりと見届けようと思ったのである。

簡単な手続きを済ませて扉を開くと、議事堂は議会が始まる直前の緊張感に包まれていた。傍聴席は思った以上に議員との距離が近く、議場の緊張感が直に伝わってきた。普段身近な存在の議員が、いつもと違った面持ちで時を待つ

議会 見・聞・録



ているのを垣間見、我々は席に着いた。「ああ、こんな雰囲気の中でこの町の最高議決機関は議論を重ねているんだなあ」と、感慨にふけた。

内容としては、やはり、町長の所信が興味深かった。コロナの難局をどのような考えの基に町のかじ取りをしているのかがよく理解できた。こういうときこそ、自分達の生活に直結する議論の現場をよく見極め、多くの人が議会を注視していく必要があると感じた。

西湖観光協会 会長 三浦 美信

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は3月です

どなたでも傍聴できます。
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。



● 議会広報常任委員会
委員長 佐藤 安子
副委員長 古屋 幹吉
委員 中村 拓郎
古屋 実
外川 満
山下 利夫
梶原 義美
三浦 康夫

（古屋 幹吉）
初心を忘れず今後も、開かれた議会を目指してまいります。

今回の議会だよりは、改選後の議員による初めての定例会であり、来年度の予算編成に向けて、町長の方針を伺える12月定例会の内容をお届けいたします。

令和4年がスタートしました。本年も宜しく願います。

新型コロナウイルスも昨年同様は、ワクチン接種などの効果により沈静化し、このまま収束化への期待もありました。しかし、オミクロン株により驚くほど急増しています。長い戦いの中ですが、一人一人が感染対策を徹底しましょう。

編集後記

議会だより ふ・じ・わ・が・ら・ん Vol.73
2022.2

発行：富士河口湖町議会 編集：議会広報常任委員会
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167